

税と兵役

学習日 月 日

点

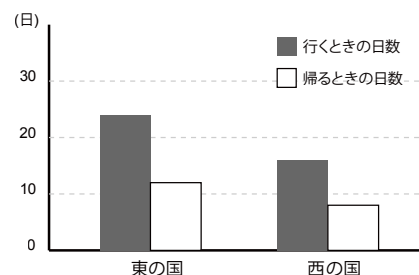
1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

奈良時代、農民には田があたえられるかわりに、収穫の約3%の稲を納める（ A ）や、特産物を納める調、布などを納める庸などの重い税が課せられた。調や庸は、農民自身の手で都まで運ばなければならず、大変な負担であった。そのため、負担からのがれるために（ B ）をいつわって戸籍に登録したり、土地を捨てて逃亡したりする農民も現れた。

- ① 文中のAに入る税の名称を答えなさい。 ()
- ② 文中のBに入る言葉を漢字2字で書きなさい。 ()
- ③ 税のほかに、農民には1年に60日以内の労働も課せられた。この労働を何というか。 ()
- ④ 農民に課せられた兵役のうち、九州北部の防衛にあたった兵士を何というか。 ()
- ⑤ この時代の農民の苦しい生活をうたった歌なども収められている、日本最古の和歌集を何というか。 ()

2 右のグラフは、律令の規定をもとに、東国と西国の農民が

都へ行くときの日数と、帰るときの日数を
比べたものである。これを見て、あとの
各問いに答えなさい。



- ① 調や庸などの税を都へ納めるとき、だれの税かを示すために品物に結びつけられた木の札を何というか。 ()
- ② グラフで、「行くとき」が「帰るとき」よりも日数がかかっているのはなぜか。「税」という言葉を使って簡潔に書きなさい。 ()
- ③ 重い税や兵役などの負担からのがれるため、当時の農民が捨てて逃げた田を何というか。 ()

解答

1 ① 租 ② 性別 ③ 雑徭 ④ 防人 ⑤ 万葉集

2 ① 木簡 ② 重い税の品物を都へ運んでいたから。 ③ 口分田